

わが家の家事シェアは

苦手な家事は相手にまかせるとうまくいく



• case • 02

Profile

みとべ ひであき

水戸部 秀亮 さん(31)
会社員

【勤務時間と休日】
7時30分～19時30分。土日祝日休み

【担当家事】
料理、掃除機かけ、ゴミ捨て、トイレ掃除

まきの

水戸部 真貴乃さん(30)
会社員

【勤務時間と休日】
7時30分～19時30分。土日祝日休み

【担当家事】
料理(自分4:夫6くらい…)、
食器洗い、洗濯、風呂掃除、猫の世話

夫の転職をきっかけに 家事シェアが進んだ

家事のシェア率はほぼ半分、と口をそろえる水戸部さん夫婦。しかし3年前までは秀亮さんの帰宅時間が遅く、ほとんどの家事を真貴乃さんが担当していたといいます。

しかし3年前、秀亮さんが転職したことで、出勤・退勤時間ともにほぼ同じになりました。そこで真貴乃さんが「同

じ時間に帰ってきているのだから、家事も同じだけしてほしい」と提案。秀亮さんも納得し、そこからはスムーズに現在の“ほぼ半分ずつ”のスタイルが定着したそうです。とはいえ、「それぞれ特に家事をしたいタイプではないので、お互いのできる範囲でやることにしています。外食したり、お弁当を作る気力が湧かない時はクオカードなどを渡してお金で解決したり(笑)」と真貴乃さん。

お互い、相手の苦手なことを やるようにしている

お互いに心がけているのは、相手がやった家事に文句を言わないこと。もちろん時々気になることはあります。でもそれができるのは、お互いに「自分の苦手な家事を相手がやってくれている」から。たとえば真貴乃さんは

掃除機かけが嫌いなため、秀亮さんが担当。「自分が嫌いなので、もし床の髪の毛が気になることがあっても『掃除機かけて』とは言いません」。同じく秀亮さんは食器洗いが苦手なので、真貴乃さんがすることが多いそう。

お互いに苦手な家事を相手にまかせると感謝の気持ちが生まれ、相手のやり方や成果に多少気になることがあっても、目をつぶることができるのです。

水戸部さん家の「家事シェア」事情



掃除機がけは秀亮さんが担当

もともと一人暮らし経験者で家事スキルも身につけていたため、家事シェアもスムーズ



こんな家事の効率化(?)も…

真貴乃さんがロングヘアーだったとき、排水口に髪の毛が詰まりやすいことが気になっていた秀亮さん。真貴乃さんが髪を切ったからは「ショートカットをほめて、髪の毛の長さを維持してもらおうようにしている」とか! ちなみに「自分でも短い方が楽なので、夫がそういうなら…と(笑)」とは真貴乃さん談。



最近加わった新しい家事

最近2人の暮らしに加わった猫のほこりちゃん。世話は真貴乃さんの担当。今は秀亮さんが夕食の支度をし、その間に真貴乃さんがほこりちゃんの世話をする流れが多いとか



コミュニケーションはこまめな連絡で

なんでもないことでもメッセージを送り合い、コミュニケーションを取っている2人。「夕食を作ったら翌日のお弁当は作らなくていい(相手を作る)」ルールなので、弁当を作ってもらった日は弁当箱を開けたタイミングで連絡をして、お互いに感謝を伝えるようにしているそう